

免疫学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Nakamae S, Kimura D, Miyakoda M, Sukhbaatar O, Inoue S-I, Yui K: Role of IL-10 in inhibiting protective immune responses against infection with heterologous Plasmodium parasites. Parasitol Int 70: 5 – 15, 2019 (IF:2.017)

B 邦文

B-b

1. 井上信一, 小林富美恵, 由井克之: マラリアに対する防御免疫において γ δ T 細胞が果たす役割. 臨床免疫・アレルギー科 71(3): 252 - 257, 2019
2. 由井克之, 慢性感染症における IL-27 産生性制御性 T 細胞, 医学のあゆみ 特集制御性 T 細胞 研究の現在 268 (13), 1205-1209, 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	2	0	0	0	13

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
由井克之・教授	理事	日本寄生虫学会
由井克之・教授	評議員	日本寄生虫学会
由井克之・教授	情報処理広報委員会委員長	日本寄生虫学会
由井克之・教授	評議員	日本免疫学会
由井克之・教授	熱帯医学研究拠点運営協議会委員	長崎大学・熱帯医学研究所
井上信一・准教授	評議員	日本寄生虫学会

競争的研究資金獲得状況

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
由井克之・教授	日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(B) (一般)	代表	マラリア原虫感染における新規抑制性細胞 Tr27 の誘導機構と防御免疫制御機序の解明
由井克之・教授	日本学術振興会・科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽)	代表	二種類の慢性感染モデルを用いた T 細胞疲弊の多様性と可逆性の分子機構に関する研究
由井克之・教授	日本学術振興会・科学研究費補助金・国際共同研究強化 (B)	代表	感染対策の進むフィリピンにおけるマラリア面気応答の記憶維持に関する国際共同研究
由井克之・教授	GHIT Fund	分担	Preclinical and preparation of early clinical testing of a new vaccine candidate against cutaneous leishmaniasis
由井克之・教授	日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (C)	分担	マラリア原虫感染における免疫記憶抑制 -IL-27 依存的メカニズムの解明-
井上信一・准教授	日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (C)	代表	マラリア免疫における $\gamma\delta$ T 細胞疲弊の意義とその分子基盤の解明
井上信一・准教授	日本学術振興会・二国間交流事業共同研究	代表	三日熱マラリアの重症化における自然免疫様細胞 γ δ T 細胞の役割の解明

井上信一・准教授	(公財)大山健康財団	代表	三日熱マラリアの重症化における自然免疫様細胞 γ δ T細胞の役割の解明
井上信一・准教授	日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (C)	分担	脂肪組織を基軸とした新たな妊娠マラリア病態発症機構の解明

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
由井克之・教授	生体防御医学寄生虫学	岡山大学・医学部